学校番号	1101

令和８年度　家庭科

教科	専門家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	保育基礎（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

将来、保育関係の進路を考えている人や、保育に興味をもつ人が選択する科目です。

・受胎から乳幼児期を中心とした学習内容を学びます。

・講義と実習を同比率で展開します。講義にも実習にも積極的に参加しましょう。

・保育所での実習を年２回行います。意欲的に参加しましょう。

2　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技術】

保育の意義や方法，子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】

子どもを取り巻く課題を発見し，保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】

子どもの健やかな発達を目指して自ら学び，保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、保育について理解しているとともに、それらに係る技術を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	子どもの発達	◇年間を通じて、講義1H・実習1H で展開する ○学ぶにあたって ○生涯発達における乳幼児期の重要性 ○発達と環境 ○発達観・児童観とは ○身体発育と運動機能の発達 ○乳幼児期のからだの発育 ○乳幼児期の発達の特徴 ○人間関係の発達 ○心の発達 ＊いちごのピンクッション作製（実習用名札作製の練習） ＊実習用名札作製 ＊DVD「保育士の仕事」視聴 ＊保育所での実習（1 回目）	a:・子どもの身体発育、運動機能、認知機能、情緒、人間関係などの様々な発達の重要性を理解している。 ・基本的人間関係の樹立のために「愛着」が重要性であることを理解している。 ・乳幼児用小物づくりに関する基礎的な技術を身につけている。 b:現代における発達観を踏まえて、自分自身が現在どのような児童観・発達観をもっているのか、客観的に分析し考察できる。 c:子どもの発達の学習に主体的に取り組んでいる。	定期考査 作品の技術点	プリント ワーク 自己評価 レポート	プリント ワーク 観察
	子どもの生活と養護	○子どもの健康と生活 ○子どもの食事 ＊離乳食 ＊子どものおやつ実習 ＊子どもの食事実習 ○子どもの衣生活 ＊おむつについて考える ＊衣服の素材や形状 ○子どもの健康管理	a:・乳幼児期の生活の特徴と擁護、生活習慣の形成、健康管理と事故防止について理解している。 ・実習を通して、子どもを養護するために必要な技能を身につけている。 b:子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考えを深めている。 c:子どもの生活と養護の学習に主体的に取り組んでいる。	定期考査	プリント ワーク 自己評価 レポート	プリント ワーク 観察

後期	子どもの文化	○子どもの遊びと生活 ＊玩具の作製 ＊切り紙、壁紙作製 ＊絵本の読み聞かせ実習 ＊絵本の読み聞かせテスト ＊保育所での実習(2回目)	a:・子どものための文化活動や児童文化財、児童文化施設などの重要性について理解している。 ・乳幼児用玩具づくりに関する技術を身につけている。 b:子どもの遊びの重要性及び遊びの種類と発達との関わり、表現活動の意義について、考えを深めている。 c:子どもの文化の学習に主体的に取り組んでいる。	定期考査 作品の技術点	プリント ワーク 自己評価 レポート	プリント ワーク 観察
	子どもの保育	○保育の意義と目標 ○保育の方法 ○保育の環境 ＊少子化の理由を考える (グループワーク)	a:・保育の意義と方法、環境について理解している。 ・乳幼児の発達過程に応じた関わり方について、他者の意見をきき、検討する技術を身につけている。 b:乳幼児の健やかな育ちを支える保育の方法や環境の大切さについて理解し、発達過程に応じた関わり方について考えを深めている。 c:子どもの保育の学習に主体的に取り組んでいる。	定期考査	プリント ワーク 自己評価	プリント ワーク 観察
	子どもの福祉	○子どもの福祉 ○子育て支援 ＊地域の子育て支援について調べる ＊ダイヤモンドランキング 保育について大切にしたいこと	a:・児童福祉に関する基本的な法規とその目的と概要について理解している。 ・現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決策について自身で情報を整理することができる。 b:・子どもや子育てに関わる問題点や課題について自身の考えを述べることができる。 ・子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察することができる。 c:子どもの福祉の学習に主体的に取り組んでいる。	定期考査	プリント ワーク 自己評価	プリント ワーク 観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度